

029

フード付き多機能オーバーオール「MOVESME」の開発

取組主体

株式会社エムズ

従業員数

想定災害

実施地域

175人

全般

神奈川県

・東日本大震災で自社縫製工場が被災した経験を持つ同社は、被災した社員からのアイデアで、実体験に即した災害時に役立つ工夫を盛り込んだ、フード付き多機能オーバーオールを開発。

1 取組の概要

東日本大震災で被災した経験から開発

- ・ホテルやレストランなどの制服の企画・製作を手がける株式会社エムズは、災害時に役立つ工夫を盛り込んだフード付き多機能オーバーオール「MOVESME」（ムーブズミー）を発表。ソーラーバッテリーを首の後ろにつけられたり、重量物を持ち上げられやすいベルトが装着していたりと、災害時に便利な機能が多く備わっている。
- ・2011年3月11日に発生した東日本大震災により自社縫製工場が被災した経験を持つ同社は、2021年「日常でも便利に使い、災害時には避難や復興の助けとなるオーバーオール」を開発するに至った。

「生存率の向上」と「防災意識の啓発」のための防災用品

- ・被災経験のある社員へのアンケートをもとに課題と解決策を明確にし、「生存率の向上」と「防災意識の啓発」という2つの目的を持ち、初期避難時や復旧・復興活動、ボランティア活動など、体力を使う状況を念頭に開発されている。MOVESMEは日常利用ができるデザインで、フェーズフリーの防災用品でもある。



多機能オーバーオール「MOVESME」

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

自社ノウハウの活用し、顕在化した課題を解決

- ・開発にあたっては、実際に被災した南三陸町の自社縫製工場の従業員約50名にアンケートを実施した。アンケートで得られた災害発生時の様子や行動について、リアリティある回答の数々から顕在化した課題をリストアップ。同社が蓄積しているノウハウを活用することで災害時に役立つ工夫をふんだんに盛り込んだ。
- ・課題①「想定外の突然の発災への備えが必要」：避難袋は押入れの奥にしまいがちなのに着目し、MOVESMEは普段から使える衣服をコンセプトとすることで、有事の際に取り出しにくいという点を解決した。
- ・課題②「家屋の倒壊などからの迅速な避難ができなかった」：オーバーオールスタイルとして設計し、災害時には着用中の衣服の上から重ね着するだけでよいようにした。健康な成人男性が着用にかかる時間は6～10秒のため、すぐに避難行動に移れることを目指した。
- ・課題③「遭難時、孤立状態になったときにどうするか」：オーバーオールに装着するフードを、リバーシブルで鮮やかな黄色を表地にし、孤立状態の際に視認性が格段に高まるようにした。フードはヘルメットの上から被れるサイズで設計した。
- ・課題④「お年寄りや子ども、移動困難者たちとの避難が難しかった」：腰回りに必要最低限の物資を装着できるようにし、一緒に避難する「人」を背負えるようになっていく。



リバーシブルなフード

国土強靱化

3 取組の効果

- ・防災意識を高めるためにたくさんの購入をいただき、2021 年に行なったクラウドファンディングでは目標金額の400%以上を達成した。
- ・一般社団法人フェーズフリー協会が主催する第2回フェーズフリーアワードでは事業部門で入選し、防災への取り組みをより多くの皆様に知っていただける機会となった。

4 取組への想い

- ・東日本大震災から10年という節目の年とどう対峙するか検討し、一企業としての姿勢を示す機会とした。被災した従業員へのアンケートでは、未だ癒えることのない傷や、未曾有の大災害の厳しさを再認識するリアリティある声が集まり、多くの課題が山積したが、粘り強く開発を続け、2021年の完成・発表に至った。

5 防災・減災以外の効果

- ・災害時に役立つ工夫を盛り込んでいる一方、フェーズフリー商品として、日常使いしやすいデザインとしたため、農業用や建築土木、アウトドアレジャーなどのニーズもある。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・実際に一人でも多くの命を救える製品にするため、現場の捜索活動・救助活動に携わる方々の実態や機能の必要性などを把握し、製品に活かしていくことが課題である。
- ・製品の仕様のうち、いくつかの工夫は自衛隊・消防隊によるレスキュー時にも適応する可能性を持っている。機会があれば意見を伺い、強化型の製品を目指したい。

7 周囲の声

- ・「MOVESME を着用して、20Kg の重量物を持ち上げる体験をしたが、重さをあまり感じなかった。」（着用実験をした20代・30代女性）
- ・「仕事で便利に使っている。かっこよくて気に入っている。」（農業従事者）



普段使いも違和感のないデザイン

担当者の声

- ・2011年3月11日、東日本大震災直後は、必死に生きていくことしかできなかった。震災直後から復興期間を経て、一企業として何ができるのかを徹底的に考え抜いた結果 MOVESME が誕生した。
- ・現在から将来の防災の一つの選択肢として、日本の自然災害のみならず、世界中で MOVESME が活用されていくことを願う。
- ・「充実した日常」と「災害時の困難」を普段から同一線上で考え、フェーズフリーの取組として日頃から楽しんで MOVESME を使用することで、知らぬ間に自然災害に備える姿勢ができていく、という実態が広がっていくことが目標である。

問合せ先

株式会社エムズ 法人番号：5020001019644

電話番号：045-476-3500 FAX：045-476-3450

E-Mail：Hayashi-t@ms-uni.com URL：https://www.ms-uni.com/

動画



サイト URL

